



教育行政方針演説を述べる本
澤京子教育委員会委員長

平成30年度教育行政方針

子どもたちの多様な個性と能力を伸ばし社会を担う 人材育成と、世代を超えて学び続けるまちづくりを 着実に推進し、さらなる町教育の発展を目指す

はじめに

本日、ここに平成30年平泉町議会定例会3月会議が開催されるにあたり、平成30年度の教育行政施策について所信の一端を述べ、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東日本大震災発災から7年、時が流れ、あの日を語ることも少なくなってきましたが、この間、大規模な風水害が引きも切らず人々の暮らしを襲い、あらためて自然との向き合い方を考えさせられる日々が続いています。

世界文化遺産の地、平泉の教育においては、先人が紡いできた歴史を踏まえ、平和で持続可能な社会づくりのための学びを確かなものにしていくことこそ重要と考えます。

本町教育の軸として取り組まれてきた平泉学学習は、学校教育における系統立てた、「過去に学び、今を見つめ、未来に広げる学習」として、着実な成果を上げてきています。

一方、全国的に少子高齢化、人口減少が進むなか、地域での暮らしも情報化社会の波に巻き込まれ、子どもたちのなかでも心

を通わせ、語り合う場をもてず、命に関わる問題が深刻化しております。

そうした現状を踏まえて、本町においては「平泉町教育大綱」に基づき、学校・家庭・地域・行政の連携のもと、子どもたちの多様な個性と能力を伸ばし社会を担う人材育成と、世代を超えて学び続けるまちづくりを着実に推進し、さらなる町教育の発展を目指してまいります。

重点施策

以下の教育行政各分野の重点施策の概要について申し述べます。

○学校教育

「確かな学び(知)」「豊かな心(徳)」「健やかな体(体)」のバランスのとれた教育を展開し、平泉の子どもとして、「生きる力」をそなえた児童生徒の育成を目指していくために、以下の4点を重点施策として推進してまいります。

① 確かな学びの保障

確かな学びの保障にあたっては、基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指すとともに、児童生徒が学習意欲をもち、習得した学習内容を活用できるように、



平泉小学校での外国語活動

② 豊かな心の育成

心の教育においては、自他を大切に思う心や、他者と支え合ってよりよく生きる心など、児童生徒一人一人に豊かな心を育むことを目指してまいります。そのためには、子どもたちの実態を踏まえ、幼稚園、小・中学校の学校段階や、小学校の低・中・高学年のそれぞれの発達段階ごとに取り組むべき重点を明確にし、より効果的な指導が行われるよう、取り組みを推進してまいります。

特にも、いじめ問題に関しては、「いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめは絶対許されぬ」という共通認識のもと、学校全体が組織的かつ計画的に取り組むとともに、教師、保護者、子どもとの信頼関係を大切にし、いじめの早期発見、早期解消に努めてまいります。

また、これまで小学校5年生を対象に実施しておりました日本サッカー協会主催の「夢の教室」を中学2年生にも拡大し、今後も児童生徒の心身の健全な成長に寄与することを目的にさらなる取り組みを行ってまいります。

③ 健やかな体づくり

「健やかな体づくり」については、子どもの「生きる力」の根底となるものであり、子どもが生



夢を持つことの大切さを語る「夢の教室」

産登録後から、世界遺産学習「平泉学」を展開しております。平泉の歴史的価値を学び、世界遺産を受け継ぐ子どもたちの興味や関心を高めること、また平和への願い、未来の自分、平泉について考え、自信と誇りをもってふるさと・平泉を語り、発信できる人づくりを目指してまいります。

一昨年度は「世界遺産学習全国サミット」を当町で開催し、伝統文化や文化財の保護保全、価値継承に向けた全国各地の優れた取り組みについて、教職員、児童生徒とも、お互いに学び合い、大きな刺激を受ける機会を得ました。

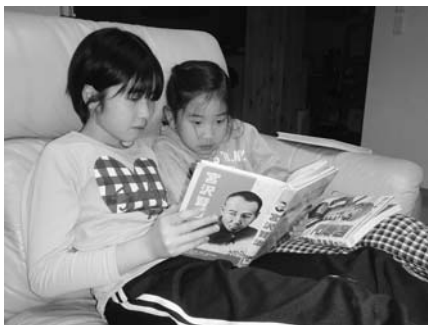
今後も平泉学で育てたい子ども像を具現化するため、幼・小・中学校において、これまでの学習素材・人材の活用に加え、新たな地域素材・人材の掘り起しを行い、活動のゴールを見据えた系統的な学習を行うこと、それ



「御神楽」を披露する郷土芸能体験講座受講生

②情報メディアとの付き合い方を含めた子どもの生活習慣づくり
子どもが規則正しい生活習慣を身につけ、心身ともに充実した健康な毎日を送るため、早起き運動や食育、家庭学習の定着など、家族ぐるみで子どもの生活習慣づくりに取り組んでまいります。また、近年、子どもの生活習慣に大きく関わるゲー

③豊かな生きがいづくりのための社会教育の充実
「生涯学習活動の充実」「情報メディアなどに関する取り組み」「生涯スポーツの振興」を柱として、以下の3点を重点施策として取り組んでまいります。



ノーテレビデーの様子

ム機やパソコン、スマートフォンなどの情報メディア機器などの使用に関し、家庭内で使用に関するルールを決めながら、子どものより良い生活習慣づくりに努めてまいります。

① 自主的・自発的な生涯学習の充実

人生を心豊かに、生きがいを感じながら充実した毎日をごせるよう、公民館や図書館などの生涯学習施設を拠点に、町民の自主的・自発的な生涯学習への取り組みを進めてまいります。また、老朽化した公民館や図書館から、新たな生涯学習・人づくりの拠点となる複合型の新社会教育施設の建設に向け、町民の多様な意見を取り入れながら進めてまいります。

平泉の特色ある歴史学習の取り組みとして、郷土の文化や歴史、伝統、産業、お祭りなどを系統立てて学ぶ「平泉学」を、幼稚園・小学校・中学校において各年代に応じたプログラムを実践してまいります。また、子どものみならず、大人や高齢者など幅広い世代の町民が子ども達と世代間交流を図りながら一緒に学ぶ「地域学習」への取り組みを進めてまいります。

さらに、平泉学を学んだ子どもたちが、平泉の良さを理解し、平泉を広く国内外に情報発信できる人材を育成するため、小学生高学年を対象にした平泉情報発信事業「黄金平泉」情報発信プロジェクトに取り組みでまいります。また、国際人としての

④系統的な「平泉学」学習
町内の幼稚園、小・中学校では、「平泉の文化遺産」の世界遺